

「県庁周辺県有地等有効活用に関する基本構想（案）」に対する意見の概要と県の考え方について
 意見募集期間：2025（令和7）年11月14日（金曜日）～2025（令和7）年12月14日（日曜日）
 意見提出件数：10件（9名）

No	意見の概要	意見に対する県の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK跡地に立山雄山を模した築山を設置し、デザインコンペやプロポーズスポットとして活用してはどうか。 ・県庁前公園は現状を維持しつつ将来の新県庁舎候補地として確保。安全祈願キャラクターを制作しスマホで持ち帰れる仕組みを。 ・現庁舎は富山総合デザインセンターを移転し、民間とのイノベーション拠点に。 ・松川の水質改善を。 	NHK跡地については、民間事業者等のアイデア実現の場として引き続き暫定活用を進めていきます。 県庁舎については、引き続き「県庁舎のあり方検討会」で、県庁舎の機能や、複合活用について検討していきます。 松川については、官庁街やオフィス街に寄り添う親しみのある水辺空間として、魅力が向上するよう取り組んでいきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設は採算が合わなければ撤退する恐れがあるため、官民連携は県・市職員のコーディネート力で魅力あるエリアにすべき。 	民間事業者へのサウンディング等の検討・意見から得られた県庁舎本館の新たな機能について、県民や民間事業者との対話を重ねて、望ましい複合活用方針を検討していきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が集まれる大型商業・娯楽施設を富山駅～県庁周辺に誘致・建設してほしい。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも利用できるリーズナブルな食堂を設置してほしい。 ・工学系や鉄道ジオラマなど学習展示施設を整備してほしい。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・富山駅～市役所・県庁・総曲輪を地下通路またはアーケードで接続し、雨雪に濡れずに歩ける動線を整備してほしい。 	周辺エリアとの連続性を高める歩行者動線のデザインを検討するとともに、回遊性を高める機能や活動を創出・誘致して周辺エリアとの連携を強化していきます。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財である県庁舎を活用したイベントを開催してほしい。 	歴史ある県庁舎本館が、まちに開かれた賑わい拠点となるよう取り組みを進めていきます。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁前エリアの再生には城址公園松川エリアの整備着手が不可欠。 	松川ペリにおいては富山市が管理する城址公園、桜・緑地、道路がある他、民間事業者による遊覧船等の運営、桜木町再開発地区における開発計画があるなど、民間事業者等が様々な活動を行っているため、密接にコミュニケーションを図っていきます。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある県庁舎本館は、賑わいの観点からも県庁機能の一部を含めて残すべき。 ・現在の県庁には足が向かない、通りから県庁舎本館が見えたほうが良い。 ・大学機能を一部導入して若者の日常的な賑わいを創出すべき。 	引き続き「県庁舎のあり方検討会」で、県庁舎の機能や、複合活用について検討していきます。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・緑を単なる景観でなく「アーバンフォレスト」として機能的に活用し、「スポンジシティ」の考え方で豪雨・暑熱対策を図ってほしい。 	緑あふれる都市景観について、健康面や防災面など幅広い観点で検討を進めていきます。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁舎へのアプローチ、内部動線、サインなどを明快にして県庁舎に入るハードルを下げてほしい。 ・県庁と県庁前公園間の道路を歩行者専用化し、滞在できる場を点在させてほしい。 	県庁舎がまちに開かれ、気軽に来訪しやすくなるよう検討を進めていきます。